

下関市烏山民俗資料館
湯浅倉平生誕150年記念企画展

湯浅倉平と故郷の人びと

— 受け継がれる想い —

2024年

4月20日[土] → 7月7日[日]

明治7年(1874)2月1日、山口県豊浦郡宇賀村(現山口県下関市豊浦町宇賀)に生まれた湯浅倉平(ゆあさくらへい・1874-1940)は、生誕150年を迎えました。

下関市烏山民俗資料館では生誕150年を記念し、官僚・政治家として活躍した湯浅倉平の生涯を振り返る企画展を開催致します。

湯浅倉平は、明治13年(1880)湯玉小学校(現下関市立宇賀小学校)を卒業後、山口中学校豊浦分校(現山口県立豊浦高等学校)、山口高等学校大学予科を経て、帝国大学法科大学政治科に入学しました。明治31年(1898)に内務省入省。関東大震災の直後に警視總監に任命され、被災者救護と治安維持に奔走しました。貴族院議員、朝鮮総督府政務總監、会計検査院長を歴任し、昭和8年(1933)に宮中の要職である宮内大臣に抜擢。二・二六事件で殺害された斎藤実の後任として内大臣に就任。昭和天皇の側近としてその重責を全うしました。

湯浅は19歳で故郷山口を離れ、東京に居を構えた後も故郷とのつながりを持ち続けていました。故郷が災害に見舞われた時には見舞金を贈り、蔵書の寄贈や同郷の学生を書生として迎え入れていました。故郷の人たちは湯浅を郷土の誇りとして慕い、宮内大臣就任の際には、生家の再建と生誕地に石碑を建立しました。

本展では、激動の時代を生きた湯浅倉平の生涯を振り返り、湯浅倉平と故郷の人たちとの交流を、約50点のゆかりの資料を通して紹介します。本展を通して湯浅倉平の誠実な人柄と湯浅を慕う故郷の人びとの想いに触れていただければ幸いです。



【愛用のシルクハット】



【宮内大臣就任を祝い生誕地に建立された石碑「湯浅倉平君生誕之地」碑文 斎藤実】
宇賀村に帰郷した昭和9年(1934)8月に撮影。湯浅は2列目中央。

故郷のこどもたちへ
今度、私が宮内大臣を拝命致しましたとこの皆さんから沢山御祝の手紙を戴きました。わたしは嬉しくて涙ながら一々読みました。それで皆さんに一々御礼の手紙を上げたいのですが、非常に忙しくて時が有りませんからこの手紙で一緒に御礼を申し上げます。
皆さんの御手紙を見ますと皆さんは一生懸命に勉強し偉い人になると云う考えをふり起こされた様で大変によい事と思いました。どうぞ勉強して偉い人になって下さい。偉い人と云っても役人ばかりが偉いという訳では決してありません。宗教家でも書家でも大工でも左官でも正しい職業であれば何でもよいのです。篤農家と為って地方の農家を改良して穀物や野菜を沢山とする様にする人も偉い人です。網を改良して魚を沢山とする様にする人も偉い人です。御国の為になる人、世の為になる人は皆偉い人です。男子で無くても女子でも偉い人になれるのです。・・・(略)

【故郷のこどもたちへ～湯浅倉平からお礼のお手紙～】

宇賀小学校のこどもたちへのお礼のお手紙。筆箱と鉛筆と一緒に贈られたといひます。

受け継がれる想い



【現在の「湯浅倉平君生誕之地」碑】

毎年5月1日に生誕碑の前で顕彰祭「湯浅まつり」が湯玉在の皆さんによって行われています。



【分骨された湯浅倉平墓所】

故郷の海を臨む善念寺墓所は、自治会代表の皆さんによって命日とお盆に清掃が行われています。

下関市烏山民俗資料館

〒759-6301 下関市豊浦町大字川棚5180番地
川棚温泉交流センター「川棚の杜」内
Tel/083-774-3855 Fax/083-774-3856

【ご利用案内】

- 開館時間 9:00～19:00(入館は18:30まで)
- 観覧料 無 料
- 休館日 12月31日～1月3日

※展覧会開催中に展示替えを実施する場合がございます。
詳しくは、当館HPかSNSをご確認ください。



← 烏山民俗資料館ホームページ
<https://www.karasuyama-museum.jp>
烏山民俗資料館公式Facebook →

